

9条改憲も

参院選争点

「過去も公約、大勝」

安倍晋三首相は四日の衆院予算委員会で、夏の参院選で争点と位置付ける改憲の対象項目に、戦力の不保持を規定した憲法九条二項も含まれるとの認識を示した。

首相は四日の答弁で、改憲を二〇二二、一四年衆院選と二三年参院選で公約に掲げ「大勝を得た」と指摘した上で、「自民党は憲法改正を掲げ続けている。党の改憲草案で九条二項は変えていくと示している」と強調。「(夏の)参院選でも今まで同様、訴えていきたい」と明言した。

首相は「九条について国民的議論が深まっている」という現状認識ではない」とも述べたが、参院選で九条改憲を含む自民党の改憲草案を公約に掲げ、改憲議論を促そうという姿勢が鮮明になった。

自民党の稲田朋美政調会長も、同日の会見で「これまでの公約で掲げた線に沿って(改憲を)参院選でも掲げる」と述べた。(新開浩)